



はま だ 穂 穂 海田ほづみ県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

病床不足への対応急務

柏市選出で、議長経験者として県政をリードする浜田穂積議員は、9月県議会一般質問に登壇。柏市を中心とした東葛地方が抱える医療、農業、道路問題など多方面にわたって質問し、当局の姿勢をたずねました。その概要を報告します。

9月県議会一般質問

医療問題
千葉県病床配分
浜田議員 千葉県では、令和4年に保健医療計画の見直しにより、千葉保健医療圏、東葛南部同、東葛北部同で更なる確保が生じて公募でしたが、今後、病床配分をどう進めたいのか。
保健医療担当部長 千葉県配分予定182床に対し9者498床、東葛南部は1251床に対し10者980床、東葛北部は1043床に対し10者948床の応募がありました。



9月県議会一般質問に登壇した浜田穂積議員

現在、応募者のヒアリングを実施しており、調整会議での議論を踏まえ、来年1月を目途に配分を決定していく予定です。
なお、病床の配分にあたっては、地域の実情に即したもとなるよう適切に進めてまいります。
東葛南部・北部の状況
浜田議員 今回募集した医療圏のうち、東葛南部北部で応募数が募集数を下回った。そこで何うが、医療機関は病床を増やす態勢が整えられない状況ではないか。また、募集数を応募数が下回る現象について県はどう受け止めているのか。
保健医療担当部長 東葛南部及び北部で、応募数が募集数を下回った要因は、前回に比べ募集数が多かったことが考えられます。これは、今後、医療需要が

大幅に増加することが見込まれたことや、病床整備に時間を要することを見越し、3年後の令和7年に必要な病床数に基づき基準病床数を定めたため、募集数が増加したものです。
医療機関によっては、用地、医師・看護師など医療従事者の確保が容易でないことが要因となった可能性もあります。
医療体制の整備
浜田議員 救急搬送が増加する中で、県民が安心して医療体制を整えるため、県はどうしていくのか。
保健医療担当部長 人口減少・少子高齢化が進む中、県内どの地域においても県民が安心して必要な医療サービスを受けられる体制を構築していくことは喫緊の課題であると考えます。
そのため不足する病床については、来年度以降、再度の公募を検討し、速やかに整備が進むよう取り組んでまいります。
また、今後増大する医療需要に対し、医療機関間の連携を層促進していくことも、医療従事者の確保や偏在対策も引き続き推進してまいります。

浜田議員 医師不足、看護師不足対策について、更なる手厚い対策が必要だと思いませんか。
保健医療担当部長 医師不足対策については、医療機関へのアンケート調査により課題の把握に努めるとともに個別の相談にも対応し、医師の勤務環境の改善と医療の質の向上が達成されるよう努めてまいります。
また、離職した看護師に対しては、職業紹介や就業相談を実施するほか、最近の知識や技術を習得できる講習会を開催するなど再就職支援を行っています。

更なる企業誘致を

企業誘致の支援制度
浜田議員 県内への企業誘致についての支援制度である立地企業補助金について、これまでの改正内容と、今後の見直しの検討状況はどうか。
知事 企業の立地は、雇用や税収の確保など、地域経済の活性化に大きな効果をもたらすことから、県では、立地企業補助金を活用し、地域の特性を活かした戦略的な企業誘致を推進しています。
補助金については、これまでの企業動向や経済情勢

に合わせて制度改正を行ってきており、具体的には、人口減少地域等において、対象業種を製造業以外にも拡大することや、県内企業の拠点化のため、再投資に係る支援の創設などを行いました。今後も、立地が更に促進されるよう、見直しに取り組んでまいります。

減る農家 「担い手育成」全力で

水田農業の担い手

浜田議員 日本の稲作は、昭和40年代までは採算の取れる米価だったが、その後、下落が続く、食糧法の廃止様々な減反政策などに翻弄されながら、コメ農家はめげずに励んできたが、今、米飯離れから、主食用米の需要が、1年間に10

万トも減少しているという。農業界と言われる千葉県農家総数は、1996年に10万1千戸余りだったが、2020年には、5万戸余りに半減した。更には高齢化が進んで農家戸数が減少し、作付面積が減少して耕作放棄地が大幅に増えるのは明らかである。

耕作規模の拡大と担い手
そこで何う。
千葉県稲作を維持して行くには、耕作規模拡大ができる担い手を大幅に組織する必要があります。どうか。
知事 水稲農家が減少す

る中、耕作者が不在となった水田を耕作放棄地にしないためには、離農者の水田を引き受け、耕作規模を拡大できる担い手を育成することが必要です。
そのためには、耕作規模の拡大に取り組む担い手が必要とする農業機械の導入

を支援しています。
また、大規模な経営体を目指す担い手の法人化や、地域で新たな担い手の構築を目指す集落営農組織の設立に対する支援などを行っており、将来にわたって地域の水田農業が維持できるよう、担い手の育成に取り組んでいるところであります。

現在の受託者への支援
浜田議員 現在、稲作を行っている受託者に対しても、新たな支援策を拡充する必要があると思いませんか。
農林水産部長 現在、水稲栽培を大規模に受託している農家は、優良な農地を維持し、耕作放棄地の発生を防止する上で、欠くことのできない存在であると認識しております。

県では、農業機械の更新などに際して、制度資金への利子補給を行うほか、効率的な農作業のための畦畔除去
要望 是非、現地を見て、生の声を聞くよう要望する。